

1 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立戸部小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録(写真) | 対象者の反応 |
|-----|-----------------------|--|----------|---|
| 10 | 教室 or 戸部の まち | 地域への 恩返しは何を すればいいか考え、 フォトブックを 作成することを決める | | まちの歴史は 創立140周年を 祝いたい思いが あり、その記念の 写真づくりが 決まりました。 |
| 30 | 〃 | フォトブックの つくり方を学ぶ ～まちのデザイン学校 の先生にお願い～ | | まちのデザインの 先生から、制作 する上で必要は 事柄や技術を 学び、撮影等 に生かした。 |
| 30 | 〃 | フォトブック 制作に取り組む | | まちの施設、 店主さんなど、 たくさんの方と 写真を通じた かわわりをもつ ことで、つながる という喜びを感じた。 |
| 10 | 〃 | フォトブックを 保護者や まちの方々に 届ける | | フォトブックの 出来を見て もらうことで、 自分たちの活動に 自信を深める ことができた。 |

1 単元の構想

(1) 子どもの思いと教師の願い

最後の総合をどうしたいか、これまでの生活科、総合の学習を振り返りながら話し合うと、「地域のために本当に役立つことをしたい」「思い出としても、形としても残るようなものにしていきたい」「自分たちだからこそできるものをつくりあげたい」といった思いが出てきた。具体的にどのような学習にしていくか、学校内外で情報収集をした。すると、子どもたちは戸部小学校が来年に創立140周年を迎え、それに向けて地域全体で祝賀イベントを進めていることを知った。「記念すべき年に向けて、自分たちだからこそできることはないかな。」という思いが高まった。以前の記念誌がどのようなものか読んでみると、子どもたちは、戸部小学校のひと・もの・ことを中心に、これまで関わってくださった地域の店主さんや施設、戸部のまちならではのものを収めた写真集を制作し、「今」の戸部小やまちの魅力を残し、それを未来に繋げていくことで、140周年を盛り上げたいという思いをもった。

これまで子どもたちは総合をはじめとする学習で、戸部のまちの方々とたくさん関わり、優しさや温かさに触れてきた。6年生として最後の総合では、まちの方々と共に活動を進められるものにしていきたい。ただ写真を撮るだけではなく、「戸部小の一生懸命さ、仲の良さを伝えたい」「この店主さんの優しさがあふれているね」と、子どもが今の戸部小や戸部のまちに誇りや愛着をもって表現できる写真にする。そのためには、戸部小やまちの様々な方々との触れ合いを密にして、自分たちを支えてくれている存在をより身近に感じられるような活動にする。そして、フォトブックの制作で試行錯誤しながらも、「お世話になった方々により良いものを届けたい」と願い続け、自分たちが戸部のまちの一員であることに、誇りと愛着をもてるようにしたい。

(2) 学習材：フォトブック

| | |
|------|--|
| 探求課題 | 横浜デザイン学院 T先生 |
| 学習対象 | フォトブック制作を通じた戸部小やまちとの関わり 戸部のまちの店主や施設 戸部小の児童、職員 |
| 学習事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様なひと・もの・ことには、地域に暮らすまちのひとの暮らしや自分たちの学習、生活経験とのつながりの中から感じ取ることができる様々な魅力があるということ <地域> ・写真やその撮影、写真集等の編集には、表現したいことを受け手に伝えるための対象の切り取り方や編集の仕方等の多様な知恵や技があるということ <文化> ・地域には自分たちの活動を見守ってくれる学校と共に歩んできた方や、適切な助言や指導をしてくれる専門家等、魅力的な大人がたくさんいるということ <キャリア> |

(3) 単元目標

「戸部小学校の140周年記念を盛り上げるために、自分たちで撮った写真でフォトブックを作り、まちの方々に届け、戸部小やまちの今を残し、未来に繋げていきたい」という思いの実現に向けて、戸部小やまちの魅力を載せたオリジナルのフォトブックを作成する活動を通して、戸部のまちには戸部小学校を心から大切に思ってくれている人がいることや、写真の構成一枚一枚に思いを込めて制作しているT先生の思いを知り、自分たちが地域の構成員の一人として、地域の人々がつながり喜んでくれるために自分にできることを考え、行動しようとする。

(4) 単元で育てたい資質・能力

| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・周年行事へのフォトブックでの参画が交流作り等、まちの繋がりをより密なものにできる可能性があることを理解する。 ・地域には人々が関わり合っより良い暮らしにしていくなための考えや取組があることを理解する。 ・写真の被写体には時間による写り方の変化があることや写したいものに焦点を合わせるなど撮影には様々な技術を要することを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々なフォトブックを見て、「主張」「写真へのこだわり」「構成」などの特徴や良さを捉える。 ・「誰もが楽しめるもの」「6-1のこだわりやらしさ」の両面の需要のバランスを考えたフォトブックを構成する。 ・自分たちの考えたフォトブックを広めるために適切な方法を考え、地域の方と協力しながら予算等についても考えてフォトブックを届けるための方法を具体的に見通して、実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・戸部小学校の140周年記念を盛り上げるために、自分たちで撮った写真でフォトブックを作り、まちの方々に届け、戸部小やまちの今を残し、未来に繋げていこうとする。 ・フォトブックについての理解を深めるため、横浜デザイン学院のTさんと関わろうとする。 ・よりよいフォトブックを目指して、友達と協力して制作をし、試行錯誤を繰り返してより良いものにしてようとする。 ・今後も地域の一員として、戸部小学校を中心とする地域の活性化に向けて、自分たちにできることを考え続けようとする。 |

5) 単元の学習活動の流れ

小単元の学習課題・学習活動・期待する姿

【学びどころ】

●関連する教科等

I 最後の総合で地域にどうやって恩返しするか? ⑩

- 自分たちの目指す総合について話し合う。
- 学校や地域に役立ち、残るという視点で学習材を決定する。
- 見通しをもつために、大まかな年間の学習計画を立てる。

戸部のまちの人たちにとって、いつまでも残るような、自分たちにしかできないことに取り組みたい。来年は戸部小学校の創立140周年だから、戸部小学校やまちの魅力をフォトブックにして、学校や地域の人たちに届けたい。そうすれば、それが形としていつまでも手元に残って、未来の戸部小やまちに伝えることができる。1年間、たくさんやることあるけど、壁を乗り越えて計画的に進めていこう。

【小単元Iの学びどころ】

最後の総合に対する思いを話し合う中で、「戸部小やまちに役立ち残るもの」を大切にすることになった。「戸部小学校創立140周年」をより盛り上げるために、オリジナルのフォトブックを作成することで地域、学校に貢献しようとする。 <地域>

II フォトブックってどうやって作るの? ⑪

- どんな写真をフォトブックに入れるか話し合う。
- 既成のフォトブックを研究し、「主張性」「写真へのこだわり」「構成や雰囲気」等の構成要素を見出し、フォトブックで主張したいことを決める。
- 学校やまちの写真を撮りに行く。
- T先生に撮影した写真を見てもらうお願いをする。

学校やまちの撮りたい写真がたくさん挙がったね。でも、どんな写真を入れるべきかが分からない。横浜デザイン学院のT先生は、「フォトブックのテーマを大切にしてください。」と言ってくださった。フォトブックには1冊を通した主張、一枚一枚の写真へのこだわり、写真の配置などの要素があることが分かったよ。自分たちは、戸部小とのつながりがあることや、未来に残すための「今」を大切に、戸部小やまちの「本気・優しさ・仲の良さ」、「その場に行ってみたくなるようなもの」を写真に撮っていこう。撮って選んだ写真をT先生に見てもらおうよ。

●「最高学年として」(道徳科)

学校がより良くなり、伝統が受け継がれていくためには、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合い、よりよい校風を自分たちが率先してつくろうという考えが必要なことについて理解する。

【小単元IIの学びどころ】

デザイン学院のT先生との関わりを通して、自分たちの撮影した写真を評価して頂いたり、技術指導を受けたりする中で、写真やフォトブックという表現方法のもつ可能性や、伝えたいことを込められることの魅力に気付く。 <文化>

III フォトブック制作に取り組もう ⑫

※本小単元

T先生が6-1の撮った写真で作ってくださったフォトブックで、もっと良い写真を入れていくことの大切さと、今後の見通しをもつことができたね。写真撮影のときは時間の変化による違いを気にすることや、光の加減、被写体に焦点が当たるようにすることなど、T先生から教わった技術が生かされて良い写真が撮れるようになってきたね。でも、自分たちで決めた140枚の写真を選び抜くことは大変だから役割分担をして計画的に取り組もう。それから、T先生や印刷屋さん、校長先生に相談して、作成までの予算を何とかしないといけない。戸部小の保護者やまちの方々に、どうやって理解してもらおうかな。受け取ってもらうためにはより良いフォトブックにしていかなければいけないね。

●「フォトブックってどうやって作るの?」 (国語 10時間)

人に薦めたいと思う事物を取り上げて、そのよさが多くの人に伝わるように、適切な形式を選ぶ。

【小単元IIIの学びどころ】

地域の様々な場所や人を撮影したり、そのための許可を得ようと地域の人と関わったりすることを通して、地域の人たちの自分たちの活動に対する温かさを感じ取る。また、適切な技術指導や助言をくれるT先生の知恵や技の奥深さを感じ取る。 <キャリア>

IV フォトブックを届けよう ⑬

- K印刷と関わり、印刷、製本し、まちの方々へ届ける。
 - フォトブックを読んでくださった方からのメッセージを読む。
- まちの方々の優しさや戸部小の一生懸命さ、仲の良さに改めて気付くことができたね。このフォトブックが多くの人の手に届いてずっと残ると思うと嬉しい。自分たちが戸部のまちの一員だと感じる事ができた。そして、戸部小学校はたくさんの人が関わって愛され続ける学校だということに気付いて良かった。今後もまちに積極的に関わりたい。

●「地域の願いと政治」(社会)

地方公共団体は人々の願いを取り入れながら、生活の安定と向上のためのはたらきをしていることが分かる。

【小単元IVの学びどころ】

これまでの活動の成果を、地域に発信し、いただいた様々な反応を分析することを通して、自分たちにも地域の一員としてできることがあることを実感し、これからも積極的にまちに関わろうとする。 <地域>

2 小単元構想

Ⅲ フォトベック制作に取り組もう (全 30 時間)

(1) 小単元目標

「140周年を盛り上げるためにフォトブックを届けたい」という思いの達成に近付くために、写真の撮り方や、制作のための予算の確保、フォトブックの構成などについて取り組む活動を通して、撮影の技術やフォトブックの構成のための情報を収集・分析する力を身に付けるとともに、横浜デザイン学院のT先生やK印刷さんと関わり、制作のための予算を確保するために自分たちができることは何かを考え、目指すフォトブックを見通し、完成させようとする。

(2) 見取りの視点と手立て

| | 見取りの視点 | ○手立て ●関連する教科等 |
|-------|---|--|
| 課題をもつ | <ul style="list-style-type: none"> 写真撮影の技術をもっと高めるために、また、フォトブックの構成をどのようにしていくかを知るために、再度T先生と関わりたいという思いをもつ。 ＜思い・願い＞ フォトブック製作のために、どのくらいの予算がかかるのか、また、その確保にはどんな方法が必要なのかを考える。 ＜課題の把握＞ | <ul style="list-style-type: none"> ○T先生からの課題である全員で撮影してきた戸部のまちに関わる写真を見合い、課題点を見出すようにする。 ○フォトブックの試作を作り、予算を含めた見通しがもてるように、T先生と打ち合わせておく。 |
| 追究する | <ul style="list-style-type: none"> フォトブックの作り方や写真の技術を高めるために、T先生とかかわりながら、撮影の練習をしたりフォトブックの試作を作ったりする。 ＜情報の収集＞ 載せたい写真を撮影するためには、より計画的に動かなければならないことに気付き、撮影、指示、構成などの役割分担をして、友達と力を合わせて活動する。 ＜気付き、協働＞ 戸部小の人と風景、まちの人と風景という項目ごとに撮影した写真を選ぶ活動を通して、自分たちが写真で伝えたいことに合っているのかを検討、判断し、自分の考えを伝え合う。 ＜対話、整理・分析＞ | <ul style="list-style-type: none"> ○撮影する際のポイントをご指導して下さったり、6-1が撮影した写真でフォトブックの試作を提示して下さったりするように事前にT先生に活動の意図を伝える。 ○T先生に役割分担などの今後の活動のヒントを伝えてもらえるよう事前に打ち合わせておく。 ○撮影した写真は、全てプリントアウトをして置いておいたり、掲示したりして、いつでも検討できるようにする。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> フォトブック製作の予算確保のために、K印刷から見積もりをもらったり、校長先生に相談したりして、保護者やまちの店主等にどのようなフォトブックなら購入してもらえるのか、保護者を中心としたアンケートの結果をもとに検討する。 ＜対話、整理・分析＞※本時 | <ul style="list-style-type: none"> ○K印刷や校長先生と事前に打ち合わせて、子どもたちに、フォトブックは購入してもらう必要があることが分かるようにして、購入意思とその理由を書いてもらうアンケートの必要性を伝えてもらう。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 予算の確保のために、試作をPRして、まちの店主から協賛を募る。 ＜情報の収集、まとめ・表現＞ K印刷と関わりながら、より良いフォトブックを完成させるために、自分たちの考えを伝え、修正、改訂を繰り返す。 ＜まとめ・表現＞ | <ul style="list-style-type: none"> ○戸部のまちの店主の方々と事前に打ち合わせ、制作の協力の依頼をしておく。 ○K印刷に子どもたちが直接話して製本までを進められるように、事前に打ち合わせをしておく。 |
| 振り返る | <ul style="list-style-type: none"> T先生との関わりを通して分かったことをもとに、写真を撮っていく上で人とかかわり方を密にすることでより良い写真が撮れることが分かり、地域に積極的に関わりたいという意欲をもつ。 ＜自己理解、気付き＞ フォトブック製作のために、多くの方が協力して下さるなど、自分たちの活動が支えられていることに気付き、より良いフォトブックを完成させて届けたいという思いをもつ。 ＜思い・願い、課題の把握＞ | <ul style="list-style-type: none"> ●人と人のつながりを大切にし、郷土をより良くしようと思う心情を育てる。(道徳科) ○協力があつたことへの感謝の発言、今後自分たちがフォトブックで地域に関わる視点について考えている子どもの発言を取り上げる。 |

(3) 小単元の学習活動の流れ

学習課題・学習活動・期待する変容 【学びどころ】

Ⅲ フォトブック制作に取り組みよう ⑩

フォトブック制作に取り掛かろう。 ⑩

T先生に撮影技術やフォトブックの作り方を教わり役割分担や撮影計画を立て、写真を撮り貯める。

- ・光の当て方や、逆に当てない方法などすごくよく分かった。これで写真がより良くなるね。
- ・夏休みに撮った写真でT先生が仕上げてくださったフォトブックは本当にすごいね。どうやってこれから作っていけばいいかが分かってきたよ。
- ・いつ、どこで、どんな写真を撮っていくのかがとても大切になるね。自分たちの都合で動いていたら、良い瞬間が収められない。だから、役割分担をして、撮影の計画をしっかりと立てよう。
- ・なかなか撮れなかった、戸部小の子どもたちの自然で明るい良い写真が撮れるようになってきたね。
- ・そろそろこのフォトブックの制作を考えないとね。
- ・届ける人やページ数を決めて印刷屋さん相談だ。

フォトブック制作の予算を解決しよう。 ⑩

K印刷さんに製本の見積もりを出してもらい、校長先生に予算について相談する。

- ・分かってはいたけど、K印刷さんから出してもらった金額にとっても驚いたよ。
- ・校長先生は、どうしたら購入をしてくれるのかよく考えるように言ってくれた。また、届けたい人の意見を聞いてみることも大切だって教えてくれた。
- ・まずはお家の人にアンケートで聞いてみよう。どんな内容なら、いくらで購入してもらえるのかを。

戸部小学校の全家庭にアンケートを配付し、その結果を踏まえて、内容を吟味する。

- ・多くのお家の人が入りたいと言ってくれているよ。まずはそれがとても嬉しいな。
- ・そうだね。でも、気になる回答も結構あって、「自分の子どもは載ってほしい」とか、「まちの〇〇さんを載せてほしい」とかあるから、限定的で一部の人が楽しめないような内容だと購入してもらえないかもしれない。
- ・でも、あまりそれに捉われ過ぎるのも良くないよ。

フォトブック全体の構成をまとめよう。 ⑩

フォトブックの全体構成、表紙や編集後記などをまとめていく。

- ・140枚の写真が決まってきて、いよいよ表紙や後書きをどうするかという段階になってきたね。
- ・表紙の候補がいくつもあって、なかなか決め切れない。決めるためには条件が大切になるね。
- ・今まで大切にしてきた、自分たちの主張を大切にしていって、届ける人たちみんなが納得する表紙にしよう。
- ・T先生やK印刷さんのことも絶対に載せたい。こまめにお世話になっているからそのことを編集後記に載せていきたい。完成が待ち遠しいな。

Ⅳ フォトブックを届けよう ⑩

○本小単元に臨む子どもの姿
「今の戸部小とまちの方々への優しさや仲の良さ、一生懸命さ等を通して、それが未来につながるようなフォトブックにしよう」という、フォトブックのコンセプトが定まった。横浜デザイン学院のT先生と関わることを通して、写真撮影の技術を教わりながら、戸部小やまちの「ひと・もの・こと」を撮影している。自分たちの指針となる方と交流をしながらの活動となり、安心し、また、だんだんと撮影に自信をもって取り組めるようになってきている。夏休みには、時間に縛られずに、光と影に着目しながら撮影に取り組んだ。「戸部のまちならではの写真が撮れた」と自信をもって準備してきた。

【小単元Ⅲの学びどころ】

○期待する変容
地域の様々な場所や人を撮影したり、そのための許可を得ようと地域の人と関わったりすることを通して、地域の人たちの自分たちの活動に対する温かさを感じ取る。また、適切な技術指導や助言をくれるT先生の知恵や技の奥深さを感じ取る。

<キャリア>

○しかけ
T先生に記載をお願いをしていた保護者アンケートを提示して、自分たちが納得する写真になっているのかを吟味する。

○ 本時の学習 (10/20時)

(1) 本時目標

保護者や職員へのアンケートの結果から、買いたくなるフォトブックにするためにはどうしたらよいかを話し合うことを通して、より良いフォトブックにするためには、自分達ならではの視点を大切にすることや、また、それがどのような写真なのかについて理解を深め、よりよいものを目指して撮影し直したり選択し直したりしようとする意欲を高める。

(2) 本時に向かう子どもの実態… (○アンケートを分析して、どんなフォトブックにするか ★そのために何をすべきか)

黒 板

| | | | |
|--|---|---|--|
| 1 ○もっと戸部小を散策して珍しい所を見つけて写真を撮る。マニアックなものや有名なものをフォトブックに混ぜて入れる。 | 4 ○アンケートに載せた写真以外にも、他にもいい写真があるからもっと見せてあげたいと思った。 | 7 ○もっといい写真を撮ったり選んだりしたい。アンケートで「買いたいと思わない」にした人がこれなら、と思えるような写真にしたい。 | 10 ○「子ども目線の写真で良い」や、「忘れても思い出せるもの」★まち風景では、ランドマークタワーなどのように似た写真が多いから、改善したい。 |
| 2 ○昔と今を残したい。大人が撮れないような写真を載せる。「笑顔がたくさん戸部小学校だった」と思い出せるもの | 5 ○七五三の写真みたいにずっと残してもらえそうなものにしたい。自分たちにしか撮れない写真はどれか、またはそういうものを撮っていききたい。 | 8 ○見る人がにやりとするような、子ども目線の学校やまちの良さなどが伝わるフォトブック。★また写真を撮りに行く。遊びの感覚で撮ってみる。 | 11 ○まだ知らない戸部のまちや見る人を驚かせるようなもの。★もっとたくさんの人を載せていくといい。 |
| 3 ★同じ場所の写真が多いチームは見直す必要がある。写真を選び直し、もっとまちの人と仲を深めて貴重な瞬間を撮りたい。 | 6 ★自分が写っているということは大切なので、なるべくたくさんのまちの人を写したい。 | 9 ○きれいな写真や自分達以外の人が撮れる写真ではいけない。6-1しか分からないことをもっと入れる必要がある。どれも欠点の無い写真にしたい。 | 12 ○「6-1しか撮れない写真」子ども目線でユーモアのある写真を載せていききたい。★写真を撮り直したり選び直したりする。 |
| 13 ○今だけでなく、昔の写真も入れたい。一つのお店の人を何枚も撮り、もっと笑顔を引き出し、その店の最高の写真を撮りたい。 | 14 ○自分が写っていないという意見に対しては、もっとたくさんの人を撮りたい。 | 15 ○写真に自分たちの伝えたいことが表れるようにしたい。大人が知らないような所がまだあって、子どもたちの目線からの写真が求められている。 | 16 ○もっと戸部のまちの良さを知りたいという記載に対して、自分たちの知る戸部のまちの良さを伝えたいと考えている。 |
| 17 ★ランドマークタワーがたくさん載っているから、それを減らすなどのバランスを取りたい。 | 18 ○買いたくなるフォトブックは6-1がいいと思うだけでなく、周りの人が引き寄せられるもの。でも、アンケートの意見をうのみにしたくない。 | 19 ★「6-1しか撮れない写真」が何なのか確認をしたい。自分たちが撮った写真は他の人でも撮れるようなものがあつたから。 | |
| 20 ○戸部の良さが伝わるもの。アンケートに載せた写真の枚数が少なかったから、良さが伝わらなかった。良さが伝わるような写真をもっと紹介したかった。 | 21 ★どうすれば、自分たちの思いを写真で伝えられるのか、戸部ならではの見えるのかを一度考えたい。完成版に近いものを見せることが大切。 | 22 ○もっとたくさんものやひと、風景があるといい。「ならでは」というのは、自分達だけが知っている「ならでは」ということに気付いた。★綺麗な写真ではない。再撮影が必要。 | 23 個別支援学級児童 |
| 24 前時欠席 | 25 ○6-1、つまり、戸部の人しか撮れないような写真を載せているフォトブック。★もっと人にして場所にしても深いところに入ってみんなが知らないところを写真にしたい。 | 26 ○「お金に代えられない」「風景などは自分でも撮れる」「知らなかった戸部が知りたい」「6-1しか撮れない写真」★写真選びの視点を話し合う。 | 27 ★ありきたりな感じがするので、もっとマニアックなものや卒業生がかかわったところ、ばげ段などの戸部にしか分からないものを入れていきたい。より多くの人を入れる。 |

(3) 本時の学びどころ

<座席表による分析>

「自分が写っていない」「全体としてのバランスがよくない」といった課題を指摘するアンケートの記載に対してそれぞれに気付きがあるが、「6-1ならではの写真がいい」という視pointsに気付いている子どもは半分にも満たない。

<本時のしかけ>

より良いフォトブックにするためには、自分達ならではの視点を大切にすることや、また、それがどのような写真なのかについて理解するために、アンケートに具体的に指摘された写真に着目させて、これまでの写真を振り返り、今後の撮影や選択をどうしていくべきか考えられるように

本 時 目 標

(4) 本時の展開

| 予想される子どもの活動と反応 | ★評価規準 ★手立て |
|--|---|
| <p><前時まで>「フォトブックを買いたいと思いますか?」と聞いた保護者や職員へのアンケートを分析し、買いたくなるフォトブックとはどんなものか、また、そのためにやるべきことについて、自分の考えをワークシートに書いている。</p> | |
| <p>「買いたくなるフォトブック」とはどのようなものか?</p> | |
| <p>① アンケートの結果に着目し、買いたくなるフォトブックとはどのようなものか話し合う。</p> | |
| <p><成果> ○6-1の保護者は全員が「買いたい」に○を付けてくれて嬉しい。全体的にも多くの方が買いたいと思ってくれたことで安心した。</p> | <p>☆(P)MIチャートで発言を整理して板書する。</p> |
| <p><課題> ▲140周年を感じない。 ▲完成版に近いものでないと判断できないという意見があった。 ▲自分が写っていないと嫌だという声があった。 ▲自分たちが写真で伝えたいことが伝え切れていない。 ▲「キレイな写真」ばかりで、何だかかっこつけているような、背伸びしている気がする。 ▲まちの人の笑顔が中途半端だね。 ▲ランドマークタワーの写真は、<u>誰でも撮れてしまうようなものであって、ありきたりに感じてしまう。</u> ▲校舎の写真とか似たものが多い、<u>6-1ならでは</u>になっていない。</p> | <p><改善> ☆昔のものが今もあるという写真を撮りたい。 ☆写真が決まったら製本になるので、それで良いかどうかを判断してほしい。 ☆もっと多くの人が写るように撮影をしたい。 ☆マニアックな写真とかも入れていきたい。 ☆<u>6-1ならでは</u>の写真とは、<u>子どもの目線でまちの人やものにかかわった上で撮れるもので、他の人には気付けないもの</u>だよ。 ☆そこを知らないと撮れないような写真にしたい。</p> |
| <p>② アンケートに載せた写真の中で、「6-1ならでは」という視点に着目し、それが適っている写真とそうでないものを捉えて、これまでに撮りためた写真の中で、それに見合った写真がないかを探して話し合う。</p> | |
| <p>発問：アンケートに載せた写真の中で「6-1ならでは」になっている写真はどれかな？まちと学校の風景に限ると、今までに撮ってきたものの中にはないかな？</p> | |
| <p>○ばけだんの写真はまさに戸部のまちを知らない人じゃなきゃ撮れないよね。ジャングルジムからの写真は子どもの目線でいいよね。 ▲ランドマークタワーは隣のまちとかでも撮れるよね。もし撮るなら、6-1ならでは、あっ、廊下の窓からの景色ならいいよね。 ▲掃部山公園の写真はすごく美しいけど、誰でも撮れるようなありきたりの場所だよ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆戸部小の展示館やふれあい館は知らない人には撮れないよね。 ☆戸部小の坂の下の五叉路とか、いつも通っていてそこには必ず守り隊の方がいてくださって、なじみ深いし、戸部ならではだと思おう。</p> | <p>☆アンケートに載せた写真は黒板で示すことができるように印刷しておく。</p> <p>☆過去に撮影した写真を探したいという場合に、手元に写真を見られるように印刷しておく。</p> |
| <p>③ 振り返りを書く。</p> | |
| <p>○今日の授業で感じたのは、自分たちがフォトブックを届けたいと思っている方々に対して、もっと自分たちだからこそ撮れる本気を伝えられるようなものにしなきゃいけないと思った。今まではキレイな写真を撮ろうと心掛けていたけど、いい意味で気持ちが軽くなった。自分たちの大切にしている、戸部小の本気や、まちの温かさ、優しさ、繋がりが出るような写真を、もっともっと撮っていききたいと思う。撮るものをしっかりと決めてそれを計画的に撮影できるようにしたい。もう時間が無いので、本気で取り組みたい。</p> | <p>★本時の話し合いを通して感じたことや、これからやるべきことを考えている。 【発言・学習カード】</p> |
| <p><次時>より自分たちの主張に見合った写真を撮るための準備をする。</p> | |

③ 実施内容について

| |
|---|
| <p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>ランドマ-クワワ-などのシ-ボルのなものを、「自分たろだからこそ」撮影せざるものなど、「子ども月線」を大切にした。</p> |
| <p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>(1)については、子どもたろがその意義、必要性を理解す子こに時間がかかってしまった。</p> <p>多くの方のご協力を得られたが、金銭管理には苦労した。</p> |
| <p>(3) 児童の反応</p> <p>まろの店主さんなど、たこさんのまろの方々を写真撮影を通じて、改めて自分たろの住むまろの方々の温かさを感じ、地域の構成員の一人としての自覚を強めることにも、地域への愛着が高まった。</p> |
| <p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>改めてまろの人たろが学校に対して深い愛情をもっていることを学ぶことができた。</p> |
| <p>(5) 今後の課題と取り組み【児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等】</p> <p>特になし</p> |